

大学生協の変遷と新たな可能性

巻頭言

いまどきの大学生協の役割を考える……只友 景士 1

争論 事業連合化における独自性を問う……2

01 大学生協のユニークな連帯～大学生協東京事業連合の歴史から……亀井 隆 3

02 食と地域でオリジナリティを発揮～奈良女子大学生協同組合の取り組み……加藤 由美 11

特集 大学生協の変遷と新たな可能性……19

01 大学生協と地域生協のつながりと可能性

～1960年代以降の地域生協設立支援から考える……加賀美 太記 20

02 全国大学生協連の二つの調査からみえてくる「大学生のいま」

～「2014年大学生の意識調査報告」と「学生の消費生活に関する実態調査」……細川 孝 26

03 協同の担い手を育てる大学生協の取り組み……下門 直人 32

04 国際化する大学への生協の対応を考える～京都大学生協の事例から……中島 達弥 38

くらしと協同をたずねて

地域活性化の今～地域おこし協力隊の活動を事例として……森下 裕之 45

書評

01 『生協人間』高村勲 著……杉本 貴志 50

02 『生協の歴史から戦争と平和を学ぶ』齋藤嘉璋 著……青木 美紗 52

03 『想いをかたちに～生協、「おたがいさま」、そして地域』毛利敬典 著……浜岡 政好 54

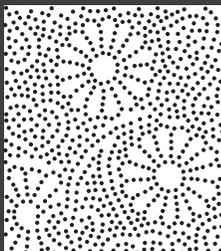
研究ノート

ベトナム中部における野菜の販売状況および購買行動に関する一考察

～食の安全に配慮した野菜に着目して～……青木 美紗 56

バックナンバー／編集後記……69

小
紋
撰
趣



表紙紋様「地落ち菊葵詰め」の紋様」

菊は古代より長寿の花とされていました。「重陽の節句」には菊の花を飾り長寿を願いました。鎌倉時代に後鳥羽上皇が菊の花を紋章に用いてから皇室の御紋となり庶民はこの文様の使用を控えるようになりました。一方、葵は紋章にも古くから用いられ、二葉葵は京都賀茂神社の神紋とされています。また三つ葉葵は徳川家の紋章としてあまりにも有名であり、江戸時代には一部の人を除いて使用を禁止されました。このように時代により使用制限され、使用を控えられてきた両文様が江戸時代に凶案化されたことに深い意味があるのではないのでしょうか。そして、それが何を意味するかを考えざるを得ません。みなさんも考えて見て下さい。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）